



平成29年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 株式会社イグニス
 コード番号 3689 URL <http://1923.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 錢 鋌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 山本 彰彦
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 TEL 03-6408-6820

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	2,828	8.3	195	76.8	184	78.0	91	89.7
28年9月期第2四半期	2,610	415.4	844		839		894	

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 61百万円 (93.1%) 28年9月期第2四半期 888百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
29年9月期第2四半期	14.21	13.53
28年9月期第2四半期	146.13	139.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	5,827	4,274	71.6
28年9月期	4,332	2,497	56.1

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 4,172百万円 28年9月期 2,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年9月期		0.00		0.00	0.00
29年9月期		0.00			
29年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	
	百万円	%
通期	6,000	7.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	6,702,800 株	28年9月期	6,235,700 株
期末自己株式数	29年9月期2Q	21,564 株	28年9月期	21,564 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	6,470,033 株	28年9月期2Q	6,124,031 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3、「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成29年5月12日(金)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会の動画については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府及び日銀による財政・金融政策の継続・拡大を背景として、引き続き企業収益や雇用情勢の改善がみられる等、景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方で、新興国・資源国等の景況悪化、英国のEU離脱問題や米国のトランプ政権発足によるグローバリズム後退懸念等、様々な面において世界規模で不確実性が高まっており、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

当社グループの主要な事業領域である国内スマートフォン向けアプリ市場は、スマートフォンの国内普及率が全体の過半数を超えて平成28年には60.2%となり(注1)、若年層を中心に依然として増加を続けていることを背景として、拡大を継続しております。国内スマートフォン向け広告市場については平成29年の市場規模が8,010億円に達する見込みであり、前年比で124%と予測されております(注2)。また、国内スマートフォン向けゲーム市場についても、平成28年度の市場規模が9,450億円に達する見込みであり、前年比で102%と予測されております(注3)。

このような経営環境の中、当社グループは第1四半期連結会計期間より、既存ジャンルの枠組みを「無料ネイティブアプリ」「ネイティブソーシャルゲーム」から「コミュニティ」「ネイティブゲーム」「メディア(その他)」へと整理し、スマートフォンアプリ事業を行ってまいりました。これら3つのジャンルを既存事業の柱とし、また、新規ジャンルへの挑戦としてIoT、VRにおいて経営資源を投入しております。

なお、ジャンルごとの取り組みは以下のとおりであります。

(注) 1. 出典：「平成28年版情報通信白書」(総務省)

2. 出典：株式会社サイバー・コミュニケーションズ[東京・中央区]/株式会社D2C[東京・中央区]

3. 出典：株式会社矢野経済研究所[東京・文京区]

(コミュニティ)

当第2四半期連結累計期間は婚活サービス「with」を中心として、ユーザー同士によるコミュニティ形成にフォーカスした運用型サービスに注力いたしました。「with」については、先行投資として積極的なプロモーションを展開していることもあり、国内ソーシャルネットワークングのカテゴリにおいて上位収斂が見られユーザー数の増加を継続しております。このような中、他社類似サービスとの差別化を図るべく、心理学を活用して最適な男女のマッチングを目指した新機能の開発に取り組んでまいりました。当該機能を実装することでユーザー数の増加を図ってまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当ジャンルの売上高は336,364千円となりました。前年同四半期における当ジャンルの売上高は35,709千円であったことから、前年同四半期比841.9%増となっております。

(ネイティブゲーム)

当第2四半期連結累計期間は「ぼくとドラゴン」が安定的に推移いたしました。2周年記念イベントや季節イベント、人気コンテンツとのコラボレーション、機能追加等を実施いたしました。今後も機能改善及び運営チームによる多彩なイベントの実施等、開発及び運営双方に注力することで、業績の安定化に努めてまいります。また、新規プロダクトの開発にも引き続き取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当ジャンルの売上高は2,299,517千円となりました。前年同四半期における当ジャンルの売上高は2,411,005千円であったことから、前年同四半期比4.6%減となっております。

(その他)

その他はビジネスパーソン向けメディア「U-NOTE」並びにどのジャンルにも属さないプロダクトにより構成されております。メディアについては、事業基盤の拡大に向けた新メディアの開発に取り組んでまいりました。また、中長期的な成長を見越し、新規ジャンルとしてIoT並びにVRへの投資を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当ジャンルの売上高は192,992千円となりました。前年同四半期における当ジャンルの売上高は164,278千円であったことから、前年同四半期比17.5%増となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,828,873千円(前年同四半期比8.3%増)、営業利益は195,628千円(前年同四半期比76.8%減)、経常利益は184,721千円(前年同四半期比78.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は91,911千円(前年同四半期比89.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は5,827,639千円となり、前連結会計年度末に比べ1,495,117千円増加いたしました。流動資産は4,478,857千円（前連結会計年度末比1,392,438千円増）となりました。主な増加要因は、新株予約権の行使等により現金及び預金が625,137千円増加したこと、売掛金が211,733千円増加したこと、営業貸付金が571,385千円増加したことによるものであります。また、固定資産は1,348,782千円（前連結会計年度末比102,679千円増）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は1,553,257千円となり、前連結会計年度末に比べ281,313千円減少いたしました。流動負債は1,118,322千円（前連結会計年度末比271,677千円減）となりました。主な減少要因は、法人税等の支払により未払法人税等が716,330千円減少したこと、主な増加要因は、運転資金の借入により短期借入金が300,000千円増加したことによるものであります。また、固定負債は434,935千円（前連結会計年度末比9,636千円減）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は4,274,381千円となり、前連結会計年度末に比べ1,776,431千円増加いたしました。主な増加要因は、新株予約権の行使により資本金が883,190千円、資本準備金が883,160千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は2,795,520千円となり、前連結会計年度末に比べ625,137千円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は1,108,693千円（前年同四半期は652,874千円の増加）となりました。主な減少要因は、売上債権の増加210,845千円、営業貸付金の増加571,385千円、法人税等の支払804,611千円によるもの、主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益184,721千円及び減価償却費223,783千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は316,703千円（前年同四半期は201,759千円の増加）となりました。主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出179,638千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は2,046,509千円（前年同四半期は19,773千円の減少）となりました。主な増加要因は、短期借入金の純増加額300,000千円、長期借入れによる収入120,000千円及び株式の発行による収入1,758,395千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月11日に公表いたしました「平成28年9月期 決算短信」の内容に変更はございません。なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,170,383	2,795,520
売掛金	395,619	607,353
営業貸付金	70,000	641,385
貯蔵品	7,694	5,194
その他	442,720	429,403
流動資産合計	3,086,418	4,478,857
固定資産		
有形固定資産	112,136	105,303
無形固定資産		
のれん	106,915	93,644
ソフトウェア	379,064	386,115
無形固定資産合計	485,980	479,759
投資その他の資産	647,985	763,718
固定資産合計	1,246,103	1,348,782
資産合計	4,332,521	5,827,639
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,214	25,407
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	183,356	220,646
未払金	230,392	219,884
未払法人税等	814,248	97,917
その他	132,788	254,467
流動負債合計	1,390,000	1,118,322
固定負債		
長期借入金	339,971	330,335
資産除去債務	104,600	104,600
固定負債合計	444,571	434,935
負債合計	1,834,571	1,553,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	621,566	1,504,756
資本剰余金	620,461	1,389,609
利益剰余金	1,244,807	1,326,070
自己株式	△51,933	△51,933
株主資本合計	2,434,902	4,168,503
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,374	4,155
その他の包括利益累計額合計	△3,374	4,155
新株予約権	3,212	5,349
非支配株主持分	63,210	96,373
純資産合計	2,497,950	4,274,381
負債純資産合計	4,332,521	5,827,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	2,610,993	2,828,873
売上原価	408,055	482,477
売上総利益	2,202,938	2,346,396
販売費及び一般管理費	1,358,344	2,150,768
営業利益	844,594	195,628
営業外収益		
受取利息	1,455	1,740
持分法による投資利益	—	751
雑収入	105	779
営業外収益合計	1,560	3,271
営業外費用		
支払利息	469	1,999
持分法による投資損失	4,561	—
貸倒引当金繰入額	—	3,999
株式交付費	—	6,843
雑損失	1,265	1,335
営業外費用合計	6,296	14,178
経常利益	839,858	184,721
特別利益		
関係会社株式売却益	590,154	—
特別利益合計	590,154	—
税金等調整前四半期純利益	1,430,013	184,721
法人税、住民税及び事業税	595,841	90,840
法人税等調整額	△58,468	39,958
法人税等合計	537,373	130,798
四半期純利益	892,640	53,922
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,242	△37,989
親会社株主に帰属する四半期純利益	894,882	91,911

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	892,640	53,922
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,700	7,530
その他の包括利益合計	△3,700	7,530
四半期包括利益	888,939	61,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	891,182	99,442
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,242	△37,989

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,430,013	184,721
関係会社株式売却損益(△は益)	△590,154	—
減価償却費	117,643	223,783
のれん償却額	9,380	13,270
株式交付費	—	6,843
受取利息	△1,455	△1,740
支払利息	469	1,999
持分法による投資損益(△は益)	4,561	△751
売上債権の増減額(△は増加)	27,534	△210,845
営業貸付金の増減額(△は増加)	△70,000	△571,385
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,660	2,500
差入保証金の増減額(△は増加)	△38,000	△1,406
仕入債務の増減額(△は減少)	18,435	△3,889
未払金の増減額(△は減少)	△87,452	△9,785
その他	994	32,203
小計	823,631	△334,481
利息の受取額	785	520
利息の支払額	△469	△1,999
法人税等の支払額	△175,842	△804,611
法人税等の還付額	4,768	31,879
営業活動によるキャッシュ・フロー	652,874	△1,108,693
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,233	△44,084
無形固定資産の取得による支出	△197,901	△179,638
投資有価証券の取得による支出	△30,000	△13,000
関係会社株式の売却による収入	499,997	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△49,726	—
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△25,000	8,704
長期貸付けによる支出	—	△500
長期貸付金の回収による収入	47,639	—
敷金の差入による支出	△25,690	△55,521
その他	△3,326	△32,663
投資活動によるキャッシュ・フロー	201,759	△316,703
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△27,572	300,000
長期借入れによる収入	—	120,000
長期借入金の返済による支出	—	△92,346
株式の発行による収入	8,299	1,758,395
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△43,200
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	338
その他	△501	3,321
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,773	2,046,509
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,017	4,023
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	831,841	625,137
現金及び現金同等物の期首残高	452,347	2,170,383
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,284,189	2,795,520

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年11月9日から平成28年11月16日までの間に、ドイツ銀行ロンドン支店から第8回及び第9回新株予約権の行使による払込みを受けました。その結果、他の新株予約権の行使による増加と合わせて、資本金が883,190千円、資本準備金が883,160千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,504,756千円、資本準備金が1,503,622千円となっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

開示情報としての重要性が乏しいため、記載を省略しております。